



ふらり らいふらりい



～図書室にはこんな本があります～

No. 148

★利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問) 佐世保の空襲について調べたい。

答) 「佐世保」「空襲」をキーワードとして検索してみます。

図書 → ことばから調べる → 佐世保 空襲 → 50件
ヒット件数が多いため、キーワードを「佐世保空襲」にして
今回は全資料から検索してみます。

全資料 → ことばから調べる → 佐世保空襲 → 5件
件数が絞り込まれました。



『軍港に降る炎』(916/So32 開架書棚)

『声なきこえ』(210.75/Sa81 閉架書庫)

『占領軍が写した終戦直後の佐世保』(219.3/126 閉架書庫)

『空襲通信』創刊号・第2号合併号(210.75/Ku94/1 閉架書庫)

なお、資料が少ない場合は最初の50件の目次から内容を精査して
選択します。

『米軍資料北九州の空襲』(210.75/058 閉架書庫)

『佐世保重砲兵聯隊史』(396.6/Sa81 閉架書庫)

※国内における戦闘は硫黄島と、唯一住民を巻きこんだ闘いとなった沖縄で、
その他地域は、焼夷弾等爆弾投下や機銃掃射の空襲と、海からの艦砲射撃
による被災だった。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

～ 復興への思い ～

『主婦之友』編集日記



『主婦之友』昭和20年11月号に記載されていた編集日記をご紹介します。
終戦から1か月余り、復興に向けての編集局の思いが綴られています。

九月二十五日(火・晴)

きょうから十一月号の編集計画にかかる。平和日本の家庭建設のために『主婦之友』は月毎に新しい形式をととのえ充実した内容を加える。日本の復興は出版が魁けする。— その信念を私達はまず『主婦之友』のうえに実現したい。

十月三日(水・晴)

アメリカの従軍婦人記者の座談会を社で開いた。アメリカにはどこにも縫物倶楽部と雑誌倶楽部があって、主婦たちはそこで研究を発表したり、雑誌の記事を教えあったりするということだ。日本の隣組も、そういう風に発展すべきである。『主婦之友』や社の講習会を、できるだけ活用して頂きたい。

十月八日(月・雨)

石川社長の月曜訓話 — 「日本の不幸な結末は、指導者が奉公心を身を以て教えなかったことにある。われわれの奉公心は、身をけずって公につくすことである。それあるこそ尊いのだ。民主主義とはこのことである。この精神が、われわれに結びつくことに不徹底であってはならぬ。国家の再建に先だちこの点を深く反省する必要がある。」

十月十四日(日・晴)

婦人に参政権が与えられる。まことに喜ぶべきことだ。日本の敗因は、政治が国民生活から遊離したところにあった。これからは健全な家庭生活が政治家の重要な資格となるべきである。真の民主主義政治はここに発する。

『主婦之友 第29巻第10号』(051/Sh99/29-10)より
※旧漢字、旧仮名遣いは改めました。

— 図書室から —

図書室では夏休みの宿題コーナーに、「学童疎開」について調べてもらうワークシートを配布しています。記入してくれた小学生には記念品を差し上げていますので、ぜひ挑戦してみてください。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ NO. 148

2012年8月19日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1